

夢企画吉農園（佐久市）

耕作放棄地再生によるレタス栽培

取り組みのきっかけと方法

夢企画吉農園では切り花生産を主軸とした農業を行ってきました。例年、農作物の収入のない5月から6月にかけて、畑と田植え前の水田を利用してレタスの出荷を行ってきましたが、水田を利用したレタス栽培は品質が不安定であり、また、さらなる生産拡大を図るため、145aの耕作放棄地を再生しレタス栽培を行うことにしました。

繁茂した雑木を片付けるため、チェーンソーなどで地上部の木を切り、バックホーで根を掘り出し片付け、トラクターで耕起し、石灰をまいて土壤改良。その後、肥料を適量まき通常のレタス栽培と同様の作業を行いました。



作業前



再生作業中

取り組みの成果と感じたこと

前年まで行っていた水田でのレタス生産を大幅に減らし、その分を新たに再生した土地で行ったため全体の生産面積自体は微増でしたが、品質は水田で作った頃と比較して格段に良くなりました。レタスの球も大きくなり形も良くなったため、高等級のレタスが増え、箱詰め等の作業性も上がりました。また、目立った病害もなく生産性は良くなりました。

耕作放棄地というと、山奥で周辺道路も狭く使いづらいイメージがありましたが今回再生した土地は作業性も良く、再生することで問題なく利用できました。佐久市内にはまだ多くの耕作放棄地があり、これらの土地を有効利用することで各農家の収益増や地域の景観向上などの効果が得られると考えられますので、意欲を持って耕作放棄地を積極的に再生して利用していくべきだと思います。



再生した土地でのレタス栽培

【報告 佐久地方事務所農政課】